

ご挨拶

■「伊勢の津七福神」は文化財の宝庫

坂倉賢芳（円光寺住職 新霊場会会長）

聖徳太子草創の道場、四天王寺東堂の崇高な発案により開創された”伊勢の津七福神”も早や4周年。



①四天王寺本堂の脇檀に安置の重要文化財薬師如来坐像（平安時代）その胎内から発見された「みぶたどころ民部田所かんちゅうじょう勘注状」（1062）絹本着色聖徳太子像、津初代藩主藤堂高虎、夫人像は重要文化財であります。また織田信長、信包の母土田御前の墓が小高い丘の中腹に祀られております。ここは五穀豊穰の大黒天霊場。

②本年は日本三観音の一つ、大門の観音寺大宝院所蔵の弘法大師像が、国の重要文化財指定という輝かしい年になり、七福神の進展に大きく寄与しようとしています。ここは必勝祈願の毘沙門天霊場。

③初馬寺所蔵の重要文化財、大日如来・阿弥陀如来坐像は、その出来映えのよさからいち早く注目を集めております。ここも聖徳太子創建「津の初馬さん」と呼ばれています。ここは商売繁盛の恵比須天霊場。

④南朝の忠臣結城宗広公を祭神とする、梅で有名な結城神社所蔵文書は、県指定の文化財となっております。明治の初年、河口常文の尽力によって別格官幣社となりました。境内の大きな狛犬は北村西望作であります。ここは無病息災の福祿寿霊場。

⑤「伊勢は津でもつ津は伊勢でもつ」と囃される津がありますが、築城の名手藤堂高虎公をお祀りする津城内の高山神社も重要な拠点となっています。文久元年（1861）に安本光政によって制作された絵馬一面が市文化財に指定されています。

ここは延命長寿の寿老神霊場。

⑥日本名湯の一つとうたわれる榊原温泉郷には、聖徳太子をご本尊とする地藏寺があります。

ここは子孫繁栄の布袋尊霊場。

⑦最後にNHK大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」幼少期の舞台となった伊勢上野城跡の円光寺は、江姫ゆ

かりの寺として脚光を浴び、6月の沙羅双樹、秋は紅葉の名所となっております。

ここは芸芸上達の辯才天霊場。

人々に幸福と安寧、長寿と繁栄を授ける場として増々発展していくものと思われまます。合掌

催し物ご案内



♥7月7日（木）《七夕祈願祭》津観音寺 19時～20時
たなばた抽選会：テント販売品 300円で1回抽選
午前11時～午後7時 空くじなしの楽しさ満載！！お待ちしております。

♥10月8日（土）～9日（日）「津まつり」津観音寺
“七福神”アンテナショップ（手作りグッズなど販売）

寄稿

■「伊勢の津七福神」托鉢行脚 川邊 照子（八の会）

4月21日（木）
伊勢の津七福神の内、4寺社を巡る托鉢行脚に参加させていただきました。雨模様のお天気でしたが、四天王寺倉島東堂の先導のもと、12名は元気にスタート。



①四天王寺—大黒天②初馬寺—恵比須天③観音寺—毘沙門天④高山神社—寿老神と順に巡りました。道中、澤徳仏壇店にも立ち寄り暖かい湯茶のご接待を頂きました。行く先々の寺社様にもおもてなしを頂き感激いたしました。御詠歌を唱え乍ら歩いていると見知らぬ人から“とても良い出会いがあって幸せです”等と、思いがけない言葉を頂いて又々感激しました。

伊勢の津七福神は、「精神文化の大切さを伝えて行きたい」「地域の活性化」を願って開創されたと伺っています。これからも継続していくことが大事だと思います。次回は秋とのこと、楽しみにしております。（托鉢行脚は八の会藤岡さんの呼び掛けです。）

■北海道伊勢開墾伝記 岩井 淳一

菩提寺住職 (北海道)

北海道の名付け親である松浦武四郎は伊勢国の方。北海道に縁の深い三重県人が開拓団を組織し、最初に入った地がポロモイ (アイヌ語で湾曲して緩やかに流れる所) 現在のそらちぐんなんぼろちよう空知郡南幌町であります。



伊勢開墾と称する三重県人の北海道開拓は明治 26 年に始まりました。藤堂藩士板垣のぶより信因の長男板垣よしお賛夫は明治という新しい時代に必死に立ち向かい、故郷安濃村郡岩田村にて非凡な才能を發揮しました。しかし細分化させた土地に限界を感じ、一大決心し北海道移住組合団体を組織することになります。

調査を行い移住可能と判断し、北海道庁の認可を得、入植地を定め一時三重に戻り移住者を確定。今尊徳とまで称された板垣の人望もあって四十戸が翌 27 年にポロモイのパンケソウカ (現南幌町三重地区) に入りました。この伊勢開墾はポロモイより北へ進み、後に田中常次郎が上富良野開拓を行う事になりますが、田中も板垣を頼って北海道へ渡ってきたようです。

板垣は開拓団組織にあたりかなり厳しい規則を定めました。それは中途半端な心構えでは、自然の厳しい北海道において一からの村作りは出来ないからです。その規則の中に国家報恩の為に神社仏閣の建立も明記されており、信仰篤き板垣は開拓団に岩田村菩提寺住職あさひじりようかん旭地了寛尼を同行させました。

そして了寛尼が粉骨砕身して建立したのが私が現在住職をあずかる北海道菩提寺であります。

了寛尼は板垣の相談を受け、当時「津に鈴木天山あり」と名を轟かせており、後に曹洞宗管長に就任する四天王寺鈴木天山住職に御高見を拝し、天山住職の志しと共に北海道へ渡りました。了寛尼は菩提寺建立後にも、NHK 朝のドラマ「マッサン」の舞台地余市町の近くである仁木町銀山に願王寺も建立し、開拓期に二ヶ寺を建てた女傑僧として名を残しました。

平成 26 年に北海道菩提寺は開創百二十周年を迎えました。また開拓期よりの農家も盛んで、米をはじめ

キャベツ、長ネギ等の生産が有名です。開墾された三重地区も農家が多いのですが、残念ながら現在は入退により三重県出身者は減ってしまいました。菩提寺住職も二代目までは三重県出身者でしたが遠距離という事もあり、現在は北海道出身の私が六代目住職であります。

しかし二十年前の開創百周年が好縁となり、本時 (本家寺) 四天王寺倉島昌行方丈様の御法愛により交流が復活し、この二十年の間にも檀信徒を始め三重県と北海道を互いに往来し懇親を深め合える仲となりました。百二十周年の時も現倉島隆行方丈様が十名の方を伴い慶事に華を添えてくださいました。出身は変われども縁は深まり、親戚同様のお付き合いをさせて戴く事が、命をかけて開墾して下さった先達への報恩行と感じている今日であります。

■津の町の思い出 平松 順造 (蒲郡市)

高校を卒業し東京に出てから今年でちょうど半世紀。私が住んでいたのは、今武内病院の人工腎センターになっている津市北丸の内 (旧西検校町)。実家も無くなった最近は数年に一度訪れるかどうかとなってしまった。

しかし、多感な高校時代までの 18 年間を過ごした津の町の思い出は、今でも動画のストップモーションのように蘇ってくる。

小学生の頃、私はとにかく本が好きで、高山神社のある津城社の中にあつた県立図書館の児童室に学校から帰ると良く通っていた。県立図書館はそのあと中学時代・高校時代といつもお世話になった。



また小学生時代、津の祭りや正月に観音さんに出る屋台の賑やかな情景が今でも思い出される。観音さんの境内にはお化け屋敷や得体のしれない見世物小屋などがたち、また、時にはサーカスマスまで来て今ではおよそ考えられない賑やかさであった。そんな風景も昭和 30 年代前半を最後に、姿を消していったように思えたが、実は私が中学に入り興味の対象が別の方へ行ったからかもしれない。



■伊勢の津七福神 友の会特典 (会員証をお見せください)

- ・鰻のつたや 059-228-3005 100円引き
- ・榊原館 059-252-0206 日帰り入浴 お茶進呈
- ・谷石材 0595-21-2148 花筒5%引き
- ・大寿司 059-234-5129 アイスクリームなどデザートサービス
- ・はま作 059-228-3088 和菓子サービス
- ・松菱 059-228-6082 7階彦兵衛ランチ700円以上 コーヒー1杯サービス
- ・浜千鳥 059-229-2255 食事の際、10%割引(都ホテル内)
- ・ホテル三徳 059-223-3109 宿泊客にコーヒー一杯サービス
- ・伊勢門本店 059-221-5777 ランチ以上に自家製プリンサービス
- ・とらや本家 059-228-4802 1000円以上お買い上げでポイント5倍押し(お菓子)
- ・パラドックス 059-264-7877 アイスクリームサービス Paradox 津市大門6-9
- ・マキノ回生堂 059-228-5331 1000円以上お買い上げの方にティッシュひと箱
- ・蕎麦彩 059-222-2513 蕎麦を食べられた方にデザートサービス

只今、友の会会員170名。

ご加入ありがとうございます。

・和田金松田和祐さま・新玉亭さま・朝日屋さま

ちょっといい話

朝起きたら、東の方を向いて「七福神様、ようこそ!きょうも1日よろしくお祈いします」と唱えたら、商売繁盛間違いなしとか。



《伊勢の津七福神友の会事務局》

〒514-0033 津市丸之内27-16 高山神社内

電話: 059-225-8558



編集後記: 記念号は色刷りで良かったとのご意見いただきました。原稿などお寄せ下さい。池上 kanon@nifty.com